



今年も残り少なくなってきました。今年は何冊の本を読むことができたでしょうか。
冬休みはクリスマスやお正月など楽しみな行事も多いですね。冬休みの計画の中にぜひ読書も入れてみましょう。

【図書館利用についてのお知らせ】

12月23日～1月7日まで図書室を閉館します。
読書を借りたい人は、早めに貸出し手続きを済ませてください。

●新着図書のお知らせ

『アラスカ永遠なる生命』(星野道夫)

アラスカに魅せられ、20年にわたりその大自然と動物たち、その土地に生きる人々を撮り続けた写真家・星野道夫。不慮の事故による急^{きゆうせい}逝後も、彼の写真と文章は見る人に変わらぬ感動を与え、新たなファンを増やし続けている。本書はアラスカの大自然の中で星野が多く生命と出会い、残した数々の写真作品とエッセイの中から選りすぐり、写文集として再構成。星野ワールドの魅力さをさらに広げる。



『この世界の片隅に』(こうの史代)

すずは広島江波で生まれた絵が得意な少女。昭和19年、18歳で呉に嫁いだすずは、戦争が世の中の空気を変えていく中、ひとりの主婦として前を向いて生きていく。だが、戦争は進み、呉はたびたび空襲に見舞われる。そして昭和20年の夏がやってきた。数々の漫画賞を受賞した原作コミックを文庫化。戦時下の広島・呉を生きるすずの日常と軌跡を描く物語。



『ブラックバイトに騙されるな』(大内裕和)

まだ社会経験の浅い学生を都合のいい労働力として、過酷な条件で働かせる「ブラックバイト」の問題点を浮き彫りにし、解決策までを提示する。ブラックバイトの巧妙な手口とは? やめたくてもやめられないバイトから抜け出す方法、身を守る方法とは? 学生たちから直接相談を受け、早くからブラックバイトの問題提起を行ってきた第一人者による決定版。



『みかづき』(森絵都)

「私、学校教育が太陽だとしたら、塾は月のような存在になると思うんです」昭和36年。人生を教えることにささげた、塾教師たちの物語が始まる。昭和~平成の塾業界を舞台に、三世代にわたって奮闘を続ける家族の感動巨編!



『かんたんデザート』(白崎裕子)

安心材料・シンプル手順の食後にうれしい四季折々の人気スイーツが大集合。プリン、チョコレート、ゼリー、アイスクリーム etc.だれでも驚くほど簡単に作ることができる秘密のオーガニックレシピ。



●寄贈図書のお知らせ

『恋のゴンドラ』(東野圭吾)、『ストロベリーライフ』(荻原浩)

『神様の裏の顔』(藤崎翔)、『ヘビメタ中年』(荒木源)

